

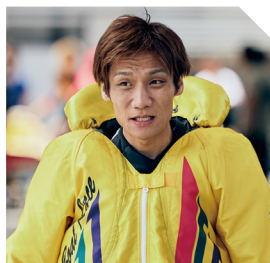
甲子園覇者の毒島誠が再び！ 好調・佐賀カルテットが挑む！



毒島誠



定松勇樹



上野真之介

7月に全国ボートレース甲子園が行われ、その覇者である毒島誠が再び参戦。甲子園は8戦オール2連対とまさに圧勝。中盤から行き足の調整もつかみ6連勝Vへつなげたが、今度は早々と正解を打ち出してくるか。打倒毒島へ強力なスクラムを組んでくるのが佐賀4選手。オールスターを制した定松勇樹に末永和也、そして精神的支柱となる上野真之介。また、SG連続優出で存在を重くしている宮地元輝もいる。がばい旋風が吹き荒れるか。羽野直也、山口剛、池田浩二と実力者がずらりだが、水面実績から大会6Vの松井繁、3Vの濱野谷憲吾もキヤリアを存分に見せつける可能

展望

性。9月とはいえ、連日30度を越える真夏日が待ち受ける水面。台風でも来ない限り、緩やかな追い風水面でのさばき合いとなりそうだ。甲子園で現インジンに初めて記念選手の手が入り、この時の相場が基準点となる。V機の19号機は行方が最も気になる大注目機。そして実績ナンパーワンの22号機は、誰が手にしても上位ランクが期待できる。甲子園優出機の23、57、29、52、46号機はまたしても活躍が期待されるが、19号機と節イチを争った56号機も要警戒だ。他では68、15号機も勝率以上のパワーが明らかとなってきた。

水面・モーター

鍵を握るのは、やはり地元勢だ。61回大会に井口佳典が制して以来丸10年もの間、他県勢に頂点を奪われている。井口が大台4Vの号砲を鳴らすのか。それとも、甲子園で優出と気を吐いた豊田健士郎がここで初の記念タイトルを手中に収め、主権交代を告げるのか。このふたりにとって大きな意味を持つ地元周年だ。一昨年の覇者である関浩哉もSG制覇が時間の問題となってきた。自身4回目となるGIタイトルを決めれば、すでに年頭のBBCを勝っている彼にとつて年末の18強へ大きな歩みとなる。注目してみたいのは竹井貴史。現インジンになってから3回目の参戦、良績を積み水面ならそろそろGI初優出があってもおかしくない。

今節のキモノ

GI	#09	津	9/6~11
ツッキー王座決定戦 (72周年)			

予想	選手名	支部	期	勝率	近況	当地				
本誌	津					勝率	優出	優勝		
×	△	松井 繁	大阪	64	7.30	↗	6.78	0	0	
	×	濱野谷憲吾	東京	70	7.22		7.60	2	0	
	×	辻 栄蔵	広島	74	6.68		7.80	0	0	
	△	原田 幸哉	長崎	76	7.03		7.00	0	0	
×	△	吉川 元浩	兵庫	79	7.63		6.70	0	0	
	穴	重成 一人	香川	80	6.51	↓	0.00	0	0	
	△	◎	池田 浩二	愛知	81	8.08	↑	7.91	2	0
	×	坪井 康晴	静岡	82	7.16	↘	0.00	0	0	
	△	△	中島 孝平	福井	84	6.84		6.67	0	0
	△	○	井口 佳典	三重	85	7.28	↓	8.28	5	4
		丸岡 正典	大阪	85	6.57		7.26	2	1	
◎	○	山口 剛	広島	91	7.57	↑	0.00	0	0	
△	◎	毒島 誠	群馬	92	7.65	↗	4.38	0	0	
		山田 哲也	東京	95	6.70	↗	6.63	2	1	
	穴	柳生 泰二	山口	97	7.16		7.71	3	1	
	×	山口 達也	岡山	97	7.04		6.06	1	0	
		松田 祐季	福井	98	6.60		6.57	2	1	
		下出 卓矢	福井	99	6.69	↘	5.80	0	0	
		末永 由楽	岡山	100	6.41		5.40	0	0	
	△	宮地 元輝	佐賀	100	6.77	↗	0.00	0	0	
		和田 兼輔	兵庫	100	6.27	↗	7.52	1	0	
	×	篠崎 仁志	福岡	101	7.09	↘	6.89	0	0	
×		北野 輝季	愛知	101	6.62	↗	6.22	3	1	
		桑原 悠	長崎	102	6.82		6.33	0	0	
	×	上野真之介	佐賀	102	8.06	↓	7.20	1	0	
		島田 賢人	埼玉	102	6.90		6.58	2	0	
		高野 哲史	兵庫	102	6.36	↑	6.27	0	0	
		野口 勝弘	愛知	103	6.48		6.13	1	1	
△	×	深谷 知博	静岡	103	6.88		6.67	0	0	
		黒井 達矢	埼玉	103	6.73		5.72	0	0	
	△	中田 竜太	埼玉	104	6.47	↗	0.00	0	0	
		中嶋健一郎	三重	105	6.61	↗	6.64	6	0	
○	△	磯部 誠	愛知	105	7.26		8.63	1	0	
		森野 正弘	山口	106	6.90		6.00	0	0	
		近江 翔吾	香川	107	6.74	↘	0.00	0	0	
	×	島村 隆幸	徳島	109	7.15		0.00	0	0	
	×	永井 彪也	東京	109	6.58		6.62	2	0	
		村上 遼	長崎	110	6.72		7.67	0	0	
△	○	上條 暢高	大阪	110	7.76	↗	7.82	1	1	
	穴	竹井 貴史	福岡	111	6.76		7.16	3	0	
		中村 晃朋	香川	111	6.63		7.23	2	0	
×		松尾 充	三重	112	6.23	↓	6.26	4	0	
	×	山田 祐也	徳島	112	6.76		7.06	0	0	
		松井 弘弥	三重	114	6.89		6.53	4	1	
×	○	羽野直也	福岡	114	6.85	↗	6.44	0	0	
		佐藤隆太郎	東京	115	7.46	↗	6.94	1	0	
△	△	関 浩哉	群馬	115	7.47		8.88	3	2	
×	○	豊田健士郎	三重	115	6.65	↑	7.52	12	4	
	△	宮之原輝紀	東京	118	8.13	↓	9.13	1	1	
	△	末永 和也	佐賀	124	7.01		8.10	2	1	
	穴	前田 翔	愛知	124	6.77		5.98	3	0	
×	○	定松 勇樹	佐賀	125	7.26		6.71	1	0	

2023年4月9日~4月14日					
着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	△	④	峰 竜太	4	14
2	×	②	高田ひかる	2	11
3	○	③	桐生 順平	3	18
4		⑤	久田 敏之	5	19
5		⑥	瓜生 正義	6	16
6	◎	①	松山 将吾	1	16
2連単 ④-②			3520円	14番人気	抜き
3連単 ④-②-③			13600円	49番人気	



前回結果

主役は地元三銃士！ グラチャン覇者・土屋智則が肉薄



今垣光太郎



武田光史



萩原秀人

地元からは今垣光太郎、武田光史、萩原秀人の3選手が参戦。注目はやはり今垣。前期はF2…、出走回数が足りず、A2級での参戦となるも、三国での実績は文句ない。結果を残して、今後に弾みをつける。タイトルに「地区代表戦」ともあり、地区別に主力級が揃った。近畿は、地元勢以外で守田俊介と田中信一郎の走りは見逃せない。一方、関東からは尼崎グラウンドチャンピオンで通算2度目のSGVの土屋智則や、直近に当地を走って優勝を手にした中野次郎。東海から徳増秀樹、中国から上平真二や藤原啓史朗などが参戦する。また、四国の石丸海渡、九州の安河内将や岡崎恭裕は当地GIで優出歴もあり、V戦線に名乗りを挙げそうだ。

展望

水面が広く、イン逃げは決まりやすいが、追い風が強く吹くと差しでの決着。また、向かい風の際はセンターの活躍が目立つ。風向きや強さは変わりやすく、水面コンディションはこまめに確認するのをオススメする。7月13日終了時点で、モーターは初おろしから4か月半経過しているが、2連対率を信頼して良い。40号機は直近の優出がないものの、誰が乗っても結果を残しているエース機候補。42号機は、乗り心地に不満を持つ声は聞かれるが、実戦パワーは抜群。実績十分の64・62・67・45の4機。さらに、2連対率は低いが、セット交換で気配一変した21号機にも注目だ。

水面・モーター

ベテラン勢に加え、若手も楽しい選手が顔を揃えた。中でもGII以上の特別戦初出場の石本裕武に注目が集まる。デビューわずか2期でA2級に昇格し、住之江ルーキーシリーズで初優勝を飾った逸材。当地は今年2度走って共に予選突破している、GIIでも大暴れすることを期待したい。他にも当地で2度の優勝を飾っている仲谷颯仁や、今年3月に選手生活初Vを決めた常住蓮と竹下大樹。三国は初優勝の思い出の水面である澤田尚也と、フレッシュさ溢れる走りは必見だ。

(実況アナ・高橋敬亮)



GII	#10	三国	9/2~7
モーターボート大賞			

予想 本誌	三国	選手名	支部	期	級	勝率	近況	当地		
								勝率	優出	優勝
		川崎 智幸	岡山	60	A2	6.11		6.00	0	0
		野長瀬正孝	静岡	61	A2	5.96		6.43	0	0
×	◎	今垣光太郎	福井	63	A2	7.25	↑	8.49	9	3
		市川 哲也	広島	67	A2	5.50	↗	6.70	0	0
×		柴田 光	群馬	68	A1	7.29		6.12	0	0
		仲口 博崇	愛知	69	A2	6.02	↗	6.66	1	0
×	▲	田中信一郎	大阪	69	A1	6.53		7.78	6	1
○	○	武田 光史	福井	72	A1	6.45	↓	7.40	10	2
○	○	守田 俊介	滋賀	74	A1	8.22	↓	8.31	2	1
▲	▲	上平 真二	広島	75	A1	7.25		7.30	1	1
△	△	徳増 秀樹	静岡	75	A1	6.59	↗	6.89	2	0
		澤 大介	三重	79	A2	5.86		5.18	0	0
		秋山 直之	群馬	83	A2	7.53	↓	6.80	0	0
		荒川 健太	三重	85	A1	6.27		6.61	0	0
		興津 藍	徳島	85	A2	5.96		6.43	1	0
◎	○	萩原 秀人	福井	86	A1	7.06		7.64	14	5
△	△	中野 次郎	東京	86	A1	6.75		7.58	1	0
		福来 剛	東京	87	A1	6.98		7.80	4	1
		石橋 道友	長崎	87	A1	6.97		6.92	1	0
		榎 幸司	長崎	90	A2	6.02	↘	0.00	0	0
		渡邊雄一郎	大阪	90	A2	6.04	↗	7.62	2	1
		福田 浩二	兵庫	94	A1	7.08		6.91	2	1
△	注	岡崎 恭裕	福岡	94	A1	6.88	↓	6.88	2	2
		海野康志郎	山口	95	A1	7.00	↑	5.75	0	0
△	◎	土屋 智則	群馬	97	A1	6.73	↗	6.97	2	1
		桑島 和宏	東京	98	A2	6.21	↘	2.88	0	0
×		河合 佑樹	静岡	102	A1	7.60		8.38	2	1
		坪口 竜也	長崎	104	A2	5.89		5.17	0	0
		荒井 翔伍	東京	106	A2	6.11		4.79	0	0
		高田 明	佐賀	107	A2	6.22	↗	5.50	0	0
		篠田 優也	兵庫	108	A2	6.11	↗	6.21	1	0
◎		丸野 一樹	滋賀	109	A1	7.18		7.83	1	0
		金子 和之	埼玉	110	A2	6.05	↗	4.62	0	0
		森永 隆	山口	110	A2	5.96	↗	6.20	0	0
		河野 大	徳島	110	A2	6.04	↗	5.51	0	0
		三浦洋次朗	愛知	110	A2	5.61		5.47	0	0
△	注	安河内 将	佐賀	111	A1	6.83		6.86	2	0
△	注	藤原啓史朗	岡山	112	A1	7.28	↘	6.38	0	0
		穴 石丸 海渡	香川	112	A1	6.61	↘	5.83	0	0
		竹田 和哉	香川	112	A1	6.73		0.00	0	0
		堤 啓輔	佐賀	113	A2	5.54		4.64	0	0
		中山 将	三重	113	A2	5.75	↗	5.76	0	0
×		仲谷 颯仁	福岡	115	A1	6.63	↑	7.68	4	2
		野中 一平	愛知	115	A1	7.19	↘	6.26	2	0
		鈴谷 一平	兵庫	116	A2	6.03		6.26	0	0
×		黒野 元基	愛知	119	A1	6.52	↗	6.68	1	0
		石田 貴洋	埼玉	121	A2	6.06	↘	5.44	1	0
		澤田 尚也	滋賀	121	A2	6.34		6.84	1	1
		竹下 大樹	福岡	121	A2	6.01	↗	5.00	1	0
		松本 純平	埼玉	123	A1	6.58		5.42	1	0
		常住 蓮	佐賀	126	A1	6.75	↘	5.58	1	0
		穴 石本 裕武	大阪	131	A2	6.19	↘	5.19	0	0

今節のキモノ